

令和4年度各会計決算を認定

9月定例市議会が9月1日に招集され、9月20日までの20日間の会期で開かれました。上程された議案は、令和4年度各会計決算認定および令和5年度各会計補正予算など24件と報告3件で、すべて原案のとおり可決・認定されました。

上程された主な議案

◇固定資産評価審査委員会委員の選任

11月30日で任期満了となる小幡正則氏および長沼幸子氏に代わり、新たに青木和夫氏（琴浦）および伊東徳章氏（小砂川1区）を選任することに同意されました。



青木 和夫 氏



伊東 徳章 氏

◇令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算とも8億8、520万8千円を追加し、予算総額は174億5、992万2千円となりました。

【主な歳出】

- ・光ファイバー移設事業 6、300万円

◇令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算とも123万円を追加し、予算総額は174億6、115万2千円となりました。

【歳出】

- ・TDK社会人野球日本選手権出場激励金 100万円

主な市政報告

◇住民税非課税世帯に対する給付金

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため、国の補助財源を活用しながら令和5年度住民税非課税世帯に対し、住民税非課税世帯支援給付金として1世帯あたり3万円を支給しています。7月1日から対象の2、396世帯に確認書を、未申告者や転入者が含まれる対象見込みの259世帯には申請書を送付し、順次申請受付と審査のうえ、8月3日から支給を開始しています。8月31日時点で、確認書送付世帯の支給決定件数は1、971件（82・3%）、申請書送付世帯の支給決定件数は76件（29・3%）となっています。なお、申請期限が10月31日までとなっていますので、引き続き申請の勧奨等を行いながら対象世帯への給付に努めます。

◇新型コロナウイルスワクチン接種事業

令和5年春開始接種は、初回接種を終了した65歳以上の高齢者、64歳以下の基礎疾患を有する方、医療従事者等を対象に、

◇オーストリア・ドイツ・フランスとの国際交流事業

これまで米国オクラホマ州シヨウニー市やワシントン州アナコテス市などと姉妹都市提携を締結し、国際的視野を広めるとともに国際感覚を養うことを目的に中学生を主体として交流を進めてきました。

このたび、TDK様より欧州において屈指の先進研究都市である「オーストリア共和国シュタイアーマルク州ドイチュランツベルク市」との交流事業についての提案を受けました。

同社はその先進研究都市の重要な一角を占めてきた工場と研究施設を有していて、これらのつながりから市民がさらなる諸外国への理解を深め、国際社会に対応できる人材の育成につながる可能性が高いと思われることから、10月中旬に現地を視察訪問し交流体制の検討に入りたいと考えています。

◇大雨による農業被害

7月14日からの大雨による農業被害の状況については、8月31日時点で、そばは冬師・本郷・横岡・大須郷地区で116・39ha、大豆は釜ヶ台・冬師・芹田地区で58・61ha、ねぎは前川・金浦地区で3・95ha、水稻

は冬師地区で1・56ha、小菊は大竹地区で0・9haが冠水などの被害を受け、農作物被害額は約2、400万円と見込まれています。被害は時間の経過とともに推移しますので、国・県の復旧・支援対策事業を注視しているところです。

◇新たな移住者支援住宅の確保

首都圏等で開催される移住相談会への出展や子育て支援策等のシテイプロモーションの効果、またアフターコロナによる経済活動等が活発になってきたこと等により、移住相談・移住体験の件数は増加傾向にあります。しかし移住希望者にとって移住先を決める重要な要素である「住まい」の確保について、本市では希望者のニーズに沿ったアパートや貸家の選択肢が少ないことが大きな課題となっています。このようなことから、小滝地内にある「特定住宅下山」について、6戸ある住宅のうち現在利用されている1戸を除いた5戸について、移住希望者が利用できる「移住者支援住宅」として活用することとしました。

◇スケートパークの利用状況等

今年4月にオープンした竹嶋潟スケートパークについては、7月31日現在約500人の利用者登録があり、延べ約1、700人の方々が利用いただいています。利用者の内訳は市内が約700人、市外が約800人、県外が約200人となっています。

施設利用のマナーについては、もともと利用者間でルールが定着していて、初心者などへのルール遵守やケガ等への対応も、地元愛好家の方々の協力もあり浸透してきていると考えています。

利用者からは、施設整備についての感謝の言葉を数多く頂いている一方、各種要望なども頂いています。

10月2日から本年度分の工事が始まることから、頂いている要望のうちハード面での対応可能なものについては、工事に反映させたいと考えています。

運営面の要望についても今後さらに検討を重ね、利用者の皆さんに愛着を持ってもらえる施設を目指します。

5月8日から6月30日までに高齢者施設の巡回接種、スマイルでの集団接種を終了して、8月13日現在の65歳以上の方の接種率は60・02%となっています。集団接種終了後は市内3医療機関での個別接種を継続しています。

令和5年秋開始接種については、追加接種が可能なすべての年齢の方が接種対象となり、国では9月20日から接種を開始し、ワクチンはオミクロン株XB・1・5対応1価を使用することとしています。

◇普通交付税

今年度の普通交付税は、51億7、793万4千円と算定され、前年度確定額に対し2億2、259万1千円、4・12%の減となっています。

また、臨時財政対策債は前年度に比べ6、127万5千円、56・4%と大幅に減少していて、これらを合わせた実質的な交付額では2億8、386万6千円の減となっています。

主な教育行政報告

◇最近の学校の様子

7月22日から始まった34日間の夏季休業は、厳しい暑さが続く異例の夏休みとなりましたが、大きな事故もなく無事に終了し8月25日から2学期が始まりました。児童生徒は元気に学校生活を送っていますが、気温の高い日が続いていることから引き続き体調面への気配りと暑さ対策を講じています。

2学期は、小学校の自然教室や修学旅行、中学校の学校祭などの大きな行事を予定しています。子どもたち一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう、引き続き学校と連携を密にしていきます。

また、昨年度から配置された「ICT支援員」により教員の個人研修や校内研修が充実し、授業における効果的なICT活用も進んできています。今後も学校訪問などを通じて、よりよい活用方法を働きかけていきます。